



平成 31 年 4 月 1 日

一般社団法人日本消化器外科学会

理事長 瀬戸 泰之 殿

一般社団法人日本外科学会

理事長 森 正樹

専門医制度委員長 小寺 泰弘

外科関連専門医制度委員会

委員長 北川 雄光



新専門医制度における外科サブスペシャリティ 6 領域との連動研修について

拝啓 春暖の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本学会および外科サブスペシャリティ 6 領域（消化器外科，心臓血管外科，呼吸器外科，小児外科，乳腺，内分泌外科）では、外科専門研修の 2 年目から当該のサブスペシャリティ研修を連動して行う制度設計を進めて参りました。

一方、本年 3 月 22 日開催の厚生労働省「医道審議会医師分科会医師専門研修部会」におきまして、正式に 2019 年 4 月からの連動研修の認定は見送られる決定がなされました。この旨は、日本専門医機構からも「基本領域とサブスペシャリティ領域との連動研修について」という 3 月 27 日付文書で通知されております。

見送りとなった主な理由は、日本専門医機構から厚生労働省への情報提供が不足しているという指摘のほか、連動研修に際しての基盤領域の研修の質の担保への疑義や、連動研修によって一部医療機関に専攻医が集中するのではないかという懸念などによるものです。日本外科学会といたしましては連動研修が正式に認められるよう、引き続き同部会および日本専門医機構と協議を行ってまいります。

また、日本外科学会は、すでに連動研修を前提として研修を行っている専攻医が不利益を被ることがないように、日本専門医機構及び厚生労働省より連動研修が正式に認定された時点で、過去の研修履歴や NCD データなどに基づいてサブスペシャリティの研修も遡って認定する「柔軟な対応」を採る方針といたしました。そのため、当初一部の外科サブスペシャリティ領域で予定されておりました「連動研修の開始宣言・登録」などは行わず、現行のカリキュラム制によるサブスペシャリティ連動研修を継続していただきますようお願い申し上げます。

これらの旨は本学会もホームページに文書を掲載して会員に周知いたしますが、貴サブスペシャリティ領域におかれましても専攻医や会員に周知いただきたくよろしく願い申し上げます。

敬 具